

# 平成27年度学校経営の重点目標及び重点的取り組み

中津市立沖代小学校

学校の教育目標  
「たのしい学校・やりぬく子ども」をめざして、子どもたちと教職員全員で取り組んでいきます。  
保護者・地域のみなさんのご協力をよろしくおねがいします。

## 学校の教育目標

たのしい学校

やりぬく子ども

## 重点目標

①自立・共生の力をつける

②学びに向かう力を伸ばす

## 重点目標・達成指標・重点的取組・取組指標

重点目標	達成指標	重点的取組	取組指標(計画)
	重点目標が達成された姿	達成に向けて具体的な取組内容	取組のために教職員で努力する内容
自立・共生の力をつける	<p>学校に遅れない100%をめざします！</p> <p>○遅刻0</p> <p>○学年集会、体験活動等で、自ら時間を意識して集合し、よく聴き、相手に伝わるように話し、活動を楽しもうとする児童</p>	<p>時間を守って生活していく態度と習慣を身につけさせる</p> <p>表現が苦手な子どもたちもいます。「自分から」「目を合わせて」「相手に伝わるように」できるといいですね。できたときは、ほめてあげてくださいね。</p> <p>相手に伝わるあいさつ、返事、お礼を身につけさせる</p>	<p>1学期</p> <p>○児童の学校に遅刻しない意識を育てるために、朝読書の開始の様子を担当が確認する。た場合は、すぐ保護者に連絡する。【全教職員配】</p> <p>○チャイム着席を定着させるために、休み時間で(次時の授業準備やトイレ、教室移動等)考えたりする。【全教職員】</p> <p>2学期</p> <p>○各縦割り班で、そうじの始まりと終わりをそろえ、各自の役割を意識し、発達段階に応じた清掃を身につけさせる。【全教職員】</p> <p>○コミュニケーション能力を高めるために、「おはようございます」「ありがとう」「ごめんなさい」「はい」を自分から(相手に伝わるように)言うモデルを教職員が示したり、指導したりする。【全教職員】</p> <p>○目標とする行動ができた児童や場面では十分ほめる。【全教職員】</p>
		<p>体を動かさず習慣を定着させる</p> <p>中学・高校と学び続けていく基盤として、学習習慣・規律を身につけることはとても大事です。ぱっと集中、ぱっと切り替えて「聴く」「書く」「話す」ができるよう学年に応じて取り組んでいきます。</p>	<p>1学期</p> <p>○休み時間に外で遊ぶ児童を増やすため介をしたり、遊ぶ場を作ったりする。【体育教職員】</p> <p>2学期</p> <p>○基礎体力の向上を図るために、体力づけ、全校児童で8分間走に取り組ませる。【全教職員】</p> <p>3学期</p> <p>○運動経験を増やすために、休み時間に体育館を開放したり、ボールを貸し出したりする期間を設ける。【体育専科教員、全教職員】</p>
学びに向かう力を伸ばす	<p>○伸び伸びと自分の考えを話したり書いたりできる児童</p> <p>○学期末の児童アンケートで、「授業で、友だちや先生にたずねたり、きちんと話をしていますか。」の項で、「はい。」と答える児童の割合が、90%以上</p>	<p>望ましい学習習慣・規律を身につけさせる 「ぱっと集中、ぱっと切りかえ」「よく聴き、よく書き、よく話す」</p>	<p>1学期</p> <p>○先生や友だちが話しているときは最後まで静かに聞く習慣づけ【全教職員】チャイムと同時に始業、終業【全教職員】</p> <p>2学期</p> <p>○友だちの話をよく聞き、質問や賛同等の意思表示をする習慣づけ【全教職員】「静と動」のある授業づくり【研究、教務が提案、点検】</p> <p>3学期</p> <p>○児童が、自分の考えをしっかりと周りに伝えられる授業を実践する【研究、教務、全教職員】</p>
		<p>「沖小タイム」や家庭学習で補充学習に取り組む、基礎学力の定着とスキルアップに取り組む 「自信を持って授業を受ける」</p> <p>児童が自ら考えを持ち、表現する授業づくりに取り組む 「どの児童にも優しい、達成感と成就感のある授業」</p>	<p>1学期</p> <p>○「家庭学習のしおり」を配布し家庭学習を習慣づける点検と指導【教務、全教職員】</p> <p>2学期</p> <p>○沖小タイム(主に国、算)を充実させていく【教務、全教職員】</p> <p>○「スズキ校務」を利用し、個別指導や支援の手立て【2・3学期】</p> <p>1学期</p> <p>○課題とまとめを板書に必ず授業をする【研究、教務、全教職員】</p> <p>2学期</p> <p>○視覚に訴え、めあてや課題を焦点化させる教材教具を準備する【研究、教務、全教職員】</p> <p>○考えを交流できる学習場面が仕組まれた授業をする(個⇄集団、書⇄話す)【研究、教務、全教職員】</p>

時間を意識することは自立の第一歩です。  
全員そろって、にこにこスタートをめざします。  
学校に遅れないように笑顔で声かけをお願いします。

人と遊ぶこと、体を動かすことは、子どもたちの心体頭の発達に欠かせません。生きる力そのものです。  
どンドン外に出て、遊ばせましょう。

家庭学習の目的は、「家庭学習の習慣化」と「学校で学習した内容の定着」です。その日暮らしの行き当たりばったりではなく、時間帯と場所を決めて毎日する習慣をつけましょう。「自分で」「当たり前」にできるよう落ち着いた環境づくりをお願いします。